

中越の名峰とうたわれる守門岳 の山開きが、去る5月29日行われ ました。

頂上は重く雲がたれこめるあい にくの天候の中、新潟市からの登 山者を含め、約450人が山開きを 祝い、今後1年間の無事を祈りま した。

その結果、人格上のゆがみを その結果、人格上のゆがみを その結果、人格上のゆがみを もった子どもが増えたり、登 もった子どもが増えたり、登 育てる: 最近の親は、知的能うい まえてほしいものです。 こいるのです。親 しいるのです。親 基礎となって 考えて はまず

今回は、幼児の情操にスドッなっているのです。そこで、校拒否などを起こす要因にも その中で社会性が育つと考えなのです。遊びが生活であり 幼児の生活は「すべて遊び」 を当ててみました。

自分をおさえることも身につきます。友達と遊びたいからの中で社会性を身につけていら T いくのです。

◆自分で創る喜び そしょう。おもちゃも完成品ば かりでなく、石や木片廃材な たり歌ったりしたら、それが なイメージをわきたたせるた なイメージをわきたたせるた 体で触れる場を与えてやりま しょう。おもちゃも完成品ば 草花を育てる中で、 ~ も積極的に利用しましょう。

命の尊さを教え、 その成

y

長を喜び、

のを与えることです。お母さないお母さんの手づくりのもあります。それはお金で買えではありません。心の対話も



このシリーズのイラストは、村山 陽さん (県立高田工業高校教論)の作品です。

| 寄附御礼 | 18)へどうぞ。 18)へどうぞ。 18)へどうぞ。 |
|---|--|
| 、次の方々から、市に寄附をいただきました。 、次の方々から、市に寄附をいただきます。ありが 「都山克雪センター畳敷込み工事資金として) (新山克雪センター畳敷込み工事資金として) (新山克雪センター畳敷込み工事資金として) | 1 名称 (1) 1 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 |

mm 広報とちお 63.6.10 mm (12)

| 教えと | | さい。ま |
|----------------|----------------------|------|
| うこのミニ・アドバイス | アドバイス | 道端の小 |
| 育ての | | いだね」 |
| | | 機会を与 |
| 『豊かな青燥を | 操を | ◆自然や |
| リフスヤ | 抗ス | 子ども |
| 育て | 育てるこよ! | おもしろ |
| | 「そいに」 | その感情 |
| 厉尾市立中野吴小学 | 厉害,有立中野吴小学交夏云 化工厂 真子 | て、犬や |
| 本具庁工工業化で | 林女女》一 | 遊びます |
| 今年も、ビッカビッカの一 | てよいでしょう。子どもが二 | もにとっ |
| 年生が入学してきました。そ | 歳を過ぎたら、玩具を与える | なります |
| の子どもたちを見ていると、 | と同時に、友達とも遊ばせま | 定を図る |
| 家庭でのしつけ(教育)が一 | しょう。友達は遊びを育てる | ったり、 |
| 目りょう然です。このように、 | 大切な条件です。子どもたち | ことも大 |
| 家庭における教育は、幼稚園 | は、お互いに影響を与えなが | ◆お母さ |
| や呆等所、小学交での牧等の | う遊びを展開していまた。そ | せこう |

| 一部千円)を、希望 のに | | ラえることです。お母さ |
|--------------------------|---------------------|--------------------|
| 館」(B五判七六个サ分 | 見て覚えていきます。大人が (館 」 | お母さんの手づくりのも |
| めた冊子「栃尾の城」の見 | 親や兄弟のあいさつの仕方を めた | ます。それはお金で買え |
| त | しつけましょう。 子どもは、 📔 つい | ありません。心の対話も |
| する、市内の城館に | 謝の心を込めていえるように すぇ | と子の対話は、言葉だけ |
| 栃尾城跡をはじめと を | りがとう」などの言葉を、感 栃足 | 母さんの手作りのものを |
| 市教育委員会は、 | うさま」「ごめんなさい」「あ – 市 | も大切なことです。 |
| | 「いただきます」「ごちそ | り、自然と遊んだりする |
| 民の皆様の、一層のご理解とご協力をお願いします。 | ◆あいさつのできる子に | 図るためにも、動物を飼 |
| 改善も積極的に進めているところであり、今後とも市 | 言われます。 | ます。子どもの情緒の安 |
| 改革のうち、事務事業の見直し、OA化等による事務 | 読書の好きな小学生に育つと | とって大切な学習の場と |
| 者の協力を得ながら進めていく予定です。また、行政 | きな子どもは本が好きになり、 | ます。また、自然は子ど |
| り口座振替制度に移行できるよう、区長をはじめ関係 | 驚く心を育てます。絵本の好 | 大や猫、小鳥や虫などと |
| 市は、このほか現金取り扱いについても、できる限 | する心を育て、新しい発見に | 感情を解消する対策とし |
| 簡素合理化」のひとつとして行うものです。 | によって、美しいものに感動 | しろくないことがあると、 |
| これは、栃尾市行政改革大綱に基づく「組織機構の | 本を読み聞かせてもらうこと | どもは、生活の中で何か |
| から実施しました。 | かにする環境の一つです。絵 | 然や動物と親しむ機会を |
| 市議会議員、市職員の給与口座振替制度を、この六月 | 絵本は幼児の心や生活を豊 | を与えましょう。 |
| 市は、かねてから進めている行政改革の一環として | ◆絵本の読みきかせを | 動を子どもに感じさせる |
| | 子どもの心は安定するのです。 | ね」「かわいいね」とい |
| 行政改革の推進に努力します | になくても、心は結びつき、 | の小さな草花にも「きれ |
| 可に 名とも | あれば、お母さんの姿がそこ | また、美しく咲く花や、 |
| 市は 今後 こう | んの手づくりのものがそこに | を愛する心を育ててくだ |

明日の栃尾産地を語る

激

し

い産地間競争

物

あまり

の

時代

たいのですが。 の現状についてお話いただき 司会 繊維の状況、栃尾産地 ごとの部会を設け、研究など 事業を実施するほか、各業種織物展示会や市場調査などの地組合といえます。そして、理業などを含む、総合的な産 1 箕輪 組織について、少し聞かせて司会 まず最初、織物組合の だけでなく、 くださ 栃尾の組合は、 11 ニッ 染色整 織物業



渡辺 ます。 して ト」が現代の市場ニーズに合てきた「短サイクル・少ロッ 地との競合が激しいことと、 されます。 栃尾産地がもっとも得意とし もハイグレード したがって、 ていく必要があると思われハイグレードなものに転換したがって、いままでより それ は 中級品で各産

果ではないでしょうか。地も積極的に対応してきた結っていることから、ほかの産 争で負けていますね。そこへ西片 それと、栃尾は販売競 いくと、 尾州産地(編集注

いう評価を得ています。 術的にも丁寧に作っているとりした経営をやっており、技 な企業はないけれど、しっか 説明しますと、それほど大き が小さいので、現たただ、一社当りの それを広げていく、開拓するだけで手一杯という感じで、 現在の得意先

ないかと思っています。 スの高いものである証拠では いう調査結果が出ており、割 の被害を余り受けていないと からの輸入品のほうが多い状クラスのものは、韓国・台湾受けており、量販店の取扱品という点が欠けています。 態です やい、 県内のニッ トは輸入

真剣に 産地 取 の体質 ij 組 みを 改善



も、いいルートこきいくら優秀な商品を作っていくら優秀な商品を作って 確立です。日本のファッショいっているんです。 一番目は、リスクを持てるければ一流品扱いですから。も、いいルートに乗せられな ま失っているんです。の京都筋への販売ルートをいの先輩が努力して開拓したこ 生地問屋なんですが、コンをリードするのは、コ 京都の 私たち

どいうことです。 いてはだめなんで、栃尾でな他産地と同じ原料を使って 栃尾でな

尾産地の織物がどのような洋服になるかを

知る、数少い機会といえます。

先を見通す力と、資金力が必うことです。そのためには、つくらなければならないといければならないといければならないとい 要ですが。

から。 的確な判断も可能になります そうすれば情報も多くなり、 補いあおうということです。化し、お互いのデメリットをを捨てて、産地内でグループいまのような「私が」の「が」 いまのような「私が」の「が」

ですが、綿とか麻、合繊などったが、それ以外は悪いといいたが、それ以外は悪いといいせりールなんで、栃尾の反対切ですね。例えば、尾州産地 西片 を使うようになってオ ズン化できた。 オ ルシーズン化も大 ルシ

すね。 かなければならないと思いま栃尾もこれを手本にしてい

はならない点がずいぶんある 理体制、外注工場・協力工場 したらいけないし、社内の管 したらいけないし、社内の管 したらないことを、従業員にや 同しないということ。会社と まず、企業経営と家庭を混ちらない点が多いと思う。 ならない点が多いと思う。 と思う。 いということ。会社と、企業経営と家庭を混



渡 健 (株)

渡辺健蔵さん

mume 広報とちお 63.6.10 mmum (2)



| んでほしいと願っています。まだまだ不十分と思いますが、繊維の輪郭だけでもつか | 繊維を正しく認識し、すべてを理解する資料としては展し現在に至っているともいえないでしょうか。また、栃尾は繊維によって、繊維があったからこそ発 | います。 尾で生活し、多くの人が何らかの形で繊維とかかわって繊維に対する印象はどうあれ、私たちは繊維のまち栃 | します。 組合で行った、「明日の栃尾産地を語る座談会」を掲載お集まりいただき、さる五月二十四日栃尾織物工業協同 | 今回は、栃尾産地を担う、若い経営者のみなさんから前月号に引きつづいて、繊維を取り上げました。 |
|--|--|---|--|--|
|--|--|---|--|--|

| 争代 | 出席者 |
|---|---------------|
| | 栃尾織物工業協同組合理事長 |
| 栃尾産地は為替 います。 います。 に置 物 に置 か と ダ を 夢 総 い ま り 、 円 高、 全 も シングルと ダ | 箕輪真一 |
| | 丸和繊維㈱・組合常務理事 |
| 栃尾産地は為替、NICSは、 しい状況に置かれていると、 の追いますが、全体としていると、 しい状況に置かれていると、 しい状況に置かれていると、 しいます。 | 佐藤勝 |
| Nて て上 Iッとルし Iい いげ Cっしで、 | ㈱渡健・組合理事 |
| N て て上 Iッとルし、 I い いじ C かしで 織 C え と、(1000 C 元 S ば と、(1000 C 元 話、 思厳新物たで | 渡辺健蔵 |
| | 栃尾ニット(株)・組合監事 |
| されます。 されます。 されます。 されます。 それが消費者の高級 いまでも真ん中から上だった いまでも真ん中から上だった が低下してきつつあると懸念 | 稲田育彦 |
| らしり、。も、のは って、個そ真最栃な | 山信織物工場・組合監事 |
| されます。 されます。 されます。 されます。 されます。 してきつつあると思います。 してきつつあると思います。 してきつつあると思います。 | 西片 実 |
| き 相性 れん 高尾 い つ 対 化 が 中 級 産 と つ 的 の 費 ら と 商 い あ に 意 者 上 は 品 ま と レ 識 の だ い の す | 司会・市商工観光課長補佐 |
| とレ識のだいのす 懸lの高っかグ。 念ド変級たなレ | 今 井 十志崇 |

産地の明日を、真剣に語る出席者のみなさん



たりします。法律的に難しいらえないものだろうかと考え修制度を作り、栃尾に来ても語を覚えてもらうといった研そこの人から織物技術や日本 佐藤 だろうが。 どこかと姉妹都市になって、 私はむしろ一時的な対

思う。 高い技術をもった人が、高齢 渡辺 いま、伝統に基づいて **曜用で困っているようです。** 西片 繊維産業は、全国的に るのだが、改善のテンポを早もちろん現在も努力してい める必要がある。

機感を持っています。 事態も起こり得るという、危 化が進むと、労働倒産という

織物組合理事長 箕輪真一さん

は、産地の死活問題といえる。の若い人がいないというときに、そ若いエネルギーを注がなけれこれからこの技術と伝統に、 化して 、限界 達しつつ ある。

高校がありとどう。…… すが、まずなにより、地元に開拓用のビデオを作っていま要だということで、いま求人 うと思います。 げて研究する必要があるだろという問題を、もっと掘り下 高校がありながら定着しない

縫製含む 産地 0 総 将 合産 :来像 地 は

されましたが、これからどう司会 いろいろと課題が指摘 お話いただけますか。



、の見本市が幸いして、七月 西片 シングルの場合、香港 なければならないでしょう。 イクルを全面に打ち出して、 はり多品種・少ロット・短サつのことを推進しながら、や渡辺 最初に私が提案した… していきたい。 やれるようになった。うまみから十月の端境期に輸出物を のあるものではないが、端境やれるようになった。うまみ から も伸 ば

> を作ることも可能だろう。 それっておられますが、産地 もやっておられますが、産地 もやっておられますが、産地 もやっておられますが、産地 はやれなくなってきており、価高騰ですでに大都市周辺で稲田 縫製業などの場合、地 他よりも先に、繊維関連産地方進出を真剣に考えている。 業を誘致して、 一大繊維産地

うのは、現状としては無理だり、自分で企画してやるといかにいろんな部品が必要であいません。縫製は、生地のほ 生地を使っての縫製は考えて西片(今の段階では、自社の

前のノーブランドでは商売にのブランド志向があって、自 婦人服などの場合、消費者 ま 確かに、 t h 将来は栃尾産

なり 渡辺



山信織物工場 西片 実さん

近いということで有利ですね。 なるかよく知りませんが、縫れに有利だと思います。 常に有利だと思います。 なるかよく知りませんが、縫いということで有利ですね。 まだ時間がかかるのではないいますし、重要なことですが、も考えなければならないと思地で縫製までやるということ でしょうか。 ただ、私たちは自分の作っ

都会の最終商品を作る企業

を検討したいですね。すので、栃尾という枠にとらまないのではないかと思いまような方策を考えないと、進ような方策を考えないと、進

労働力の絶対量を増加させる などではないでしょうか。 なりっトがありますので、そういう企業の進出は がありますので、そういうでで、そうしょうか。

フ

ア

Ξ

1

は無限

•

都会のセンス、技術のノウハを、栃尾に誘致することは、 りましたらお聞かせいただきて、市に対する要望などがあ た いのですが。 ッシ

市からは、 展示会、 見

技術の

笑輪

実に前進しており感謝していくの援助を受けて、産地は確できない事業に対し、毎年多ティバルなど個々の企業では本市、ファッション・フェス



伸ばそう繊維産業

| the second second | - |
|--|--------|
| E 10 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | 100 |
| 107 E (200 | 085 |
| 10001000 | 646 |
| 0.0114065 | 1000 |
| 1 1 1 200 | 100 |
| 1 1 108 | |
| And a second | 2011 |
| | 24 Y I |
| Sector 1 | - |
| 1000 | 682 |
| 10.100 | ar: |
| - 1. A BAR | |
| 2007 BR | |
| Design of the local division of the local di | 1.565 |
| | |
| | |
| COLUMN STATE | 87 H |
| 1 1 A 1 1 A | 61-m/h |
| COLUMN TWO IS NOT | |
| a contract of the | 1.0 |
| Heren | 1993 |
| | 1.00 |
| And a state of the local division of the loc | 1000 |
| | 65 T. |
| 10000 Dise | 10.0 |
| | |
| | 0.00 |
| | 1 |
| | 0.5 |
| | |
| | |
| - | |

| ので、この点についてお話い どうお考えですか。 | ただけますか。 渡辺 親が、子どもたちを繊 | 例えば、今春の栃尾高校卒 維に就職させたがらない、と |
|---|--|----------------------------|
| | この点についてお話い | いますか。 渡辺 この点についてお話い どうお |
| 昔の栃尾高校卒 維に就職させたがらない、 渡辺 親が、子どもたちを | 今春の栃尾高校卒 維に就職させたがらない、 | |
| いうのも無理はないと思い維に就職させたがらない、 渡辺 親が、子どもたちを | っ、十八人しか地元 いうのも無理はないと思い今春の栃尾高校卒 維に就職させたがらない、 | |
| す。自分自身が今までいいいうのも無理はないと思い維に就職させたがらない、 継に就職させたがらない、 | す。自分自身が今までいいいうのも無理はないと思い維に就職させたがらない、 | |
| とがなかったんですから。す。自分自身が今までいいいうのも無理はないと思いれに就職させたがらない、 進に就職させたがらない、 | とがなかったんですから。す。自分自身が今までいいいうのも無理はないと思い維に就職させたがらない、 | |

| 初几 | 取 | 3 | 環 | 17 | 市リ | 7 | | ス | 73 | 疋 | 主 | 0) | | (7 | 11 | hU |
|---------------|-------------|---------|--------------|---------------|----------------|-------|--------|-----|---------------|----------|---------|------|--------|------|-------|-------|
| 性 | ŧ | 賃 | 環境、 | n | で | 勢 | 劳 | ま | 足 | à | • | いは | 繊 | れ | 14 | 心では |
| | 大 | 金 | - 8 * | ば | • | つ勢で | 働 | えます | n | せ | 意 | | 維 | ければ | 労 | は |
| 安 | 切 | 水 | 全 | な | - | あ | 睦 | 0 | な | T | 識 | 63 | が | な | 働 | な |
| 定 | な | 準 | E | 5 | 交 | 3 | 間 | | 11 | や | 等 | ŧ | 嫌 | ら | 環 | < |
| 杭性: 安定性ということだ | も大切なことは、企業の | る賃金水準等問 | 全国平均を大きく | ければならないといった労働 | 利で、二交 替 | あるの | 間の | | か足りないためでもあると考 | 正させてやれるよ | 呈・意識等を、 | いまの若 | 繊維が嫌われ | ならない | 環境の | なくて、 |
| と | E | 問 | 均 | 13 | • | 12 | 短 | | \$ | る | ` | 若 | n | | 0 | |
| 53 | は | 題 | を | E | | Ę | 縮 | | で | よ | じ | 43 | 7 | と | 改 | 現 |
| う | • | ŧ | 大 | 63 | 交 | 昼 | が | | ŧ | う | ıΦ | 人 | 42 | 思 | 善 | 在 |
| Ξ | 企 | 多 | き | 2 | 桥 | 夜 | 時 | | あ | らうな、 | Ĵ | た | る | 63 | を | Ø |
| と | 業 | 題も多いが | < | た | ・三交替をし | 昼夜操業体 | 短縮が時代の | | る | • | じゅうぶん | たちの | ているとい | 思います | 改善を考え | 在の労働条 |
| だ | | | F | 労 | L | 業 | 0 | | と | 努 | | Ø | | す | ż | 働 |
| と | 水 | • | 0 | 働 | な | 体 | す | | 考 | カ | 満 | 願 | う | 0 | な | 条 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |



東京での展示会は、毎年多くの問屋・アパレ ル関係者でにぎわいます。

(7) - 広報とちお 63.6.10 ---

用途別分類

す。

染(プリント)に分けられまさらに後染めは、無地染と捺

スという語は、

一般に後者を

業者数三百七十四人、

生産額

先染めと後染めに分けられ、

ものとがあり、従来のメリヤニットには手編と機械編の

現される用途に使われます。トライプといった織り柄で表るもので、通常チェックやスする以前の糸の段階で染色すする以前の糸の段階で染色す

ットという語で表現している。に伴い、編んだ製品全般をニテリア方面への利用度の増加

よく使わ

n

るジャ

とい

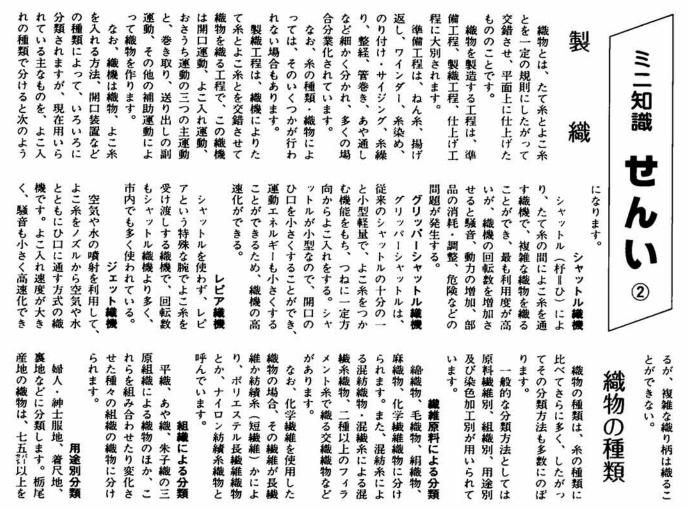
あったということです。 製造業を始めたのは、栃尾で

衣料用以外の産業資材やイン

織物工業協同組合調べ・昭和二十七億四千九百万円(栃尾

六十二年)となっています。

さしてよんだ名称であるが、



比べてさらに多く、 てその分類方法も多数にのぼ 織物の種類は、糸の種類に 織物の種類 きない。

います。 原料繊維別、組織別、用途別一般的な分類方法としては いられて

_

ッ

られます。また、昆ち、麻織物、化学繊維織物に分け、稀織物、毛織物、絹織物、銅織物、 繊糸織物、二種以上のフィラる混紡織物・混繊糸による混 があります メント糸で織る交織織物など

なお、

とか、ナイロン紡績糸織物とり、ポリエステル長繊維織物結績糸(短繊維)かによ織物の場合、その繊維が長繊

呼んでい ます。

染

色

近では編むという広い意味でいう動詞からきたもので、最編み物をする(Knit)とニットという言葉は、英語の

現状は、事業所数七十五、従の完成品がほとんどです。どの完成品がほとんどです。が尾におけるニット生産の病尾におけるニット生産のにおけるニット生産の制品はジャ

化学繊維を使用した

んど先染め織物で占められま多く、シングル幅織物はほとダブル幅織物に後染め織物が

ことである。もともと編物のープで構成されているものの

平形編機です。 に平形編機と円形編機に分か

す。

た糸の屈曲わな、すなわちル体が編み針によってつくられ組織したものと違い、布地全ニットは、織物がたて糸と

に大別され、よこ編機はさら編機もよこ編機とたて編機

する手編みはよこ編です。大別され、みなさんが家庭で

編地は、よこ編とたて編に

5、麻織物、化学で、綿織物、化学で、綿織物、化学で、 綿織物、毛織物、絹蔵り、 んでいます。栃尾産地では、印刷したものをプリントと呼め織物、布の表に模様などをにしてから染めた織物を後染

婦人物が占めてい ます。

つに分類され、四十四^村(約シングル幅、ダブル幅の二 **織物の幅による分類** 座されています。 トル)以下をシ

染めた織物を先染め織物、布製織行程の前の糸の段階で

ル幅織物が占めています。なお、全体の約七割をダブ

七些メートル)のものが最もダブルは五十八型(約百十二些メートル)呼び、栃尾ではシングルは四

多く生産されてい

ングル、それ以上をダブルと百十二***メートル)以下をシ

で、反染、ズブ染、浸染とい地全体を同じ色で染める方法

もっており、身体の動作に応という意味である。 という意味である。 という意味である。 という意味である。 がで、生地で取引され、裁断

らに生地表面にさまざまな変さがあり、軽くて暖かく、さ また、編目がつながっている。ないなどの特性をもっている。 較的容易である。 化や柄の変化を施すことが比 じて伸び縮みし、 ことから、見かけ上のかさ高 しわになら

力にしろまず栃尾産地が力を

対して、 Ę 見本市・ファッ 決して好ましい姿とはいえません。 市民生活や市財政に影響を及ぼすため、 産業形態」は、その好・不況がただちに に占める繊維工業の割合が、 市は、 繊維工業生産額の、 他産業の立地促進により、 地場産業振興のため、

くなるというのが理想といえます。 絶対的増加ととも 相対的に低 産業全体

います。 っていくことが必要と考えてる。そこに、自信を持って入 あり、それなりに楽しみもあ

市の

12

西片

労働問題にしろ、販売

産業を誘致し、 海外市場開拓・新技術開発・人材養成・ 市場消費動向調査など、織物組合事業に 積極的に助成するとともに、 足腰の強い産業構造をつ ションフェスティバル 繊維製品 他 ¥.

くるため努力していきます。

W.61 2 1 2 -

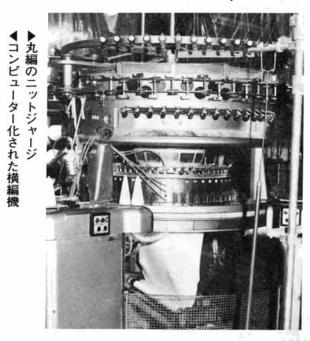
司 숲 今井十志崇

--- 広報とちお 63.6.10 ---- (6)

| 渡辺 | 2 | う | 司 | た | Ø | を | そ | 5 | 新 | か | 栃 | | ます。 | 具 | 輸 | うに | | ます。 |
|----|--------|------|----------|----|------------|-------|--------------|--------------|-------|---------|-------|-------|-----|---------------|---------------|-----|----|-----|
| 辺 | お | 思 | 숲 | 12 | で | 結 | Ξ | n | L | 12 | 尾 | 今 | す | 体 | 出 | 12 | 先 | す |
| | 願 | -> | | ح | • | 集 | 12 | T | L | に具 | 産 | 今後 | 0 | 的 | が | ` | II | 0 |
| 7 | 41 | T | 7 | 思 | fi | L | は | < | Ľ | | 地 | は | | な | 増 | н | ど | |
| 7 | L | 13 | 11 | 2 | か | te | • | 3 | 2 | 化 | 0 | • | | 成 | ż | an. | Ł | |
| .7 | ŧ | る | 一では、最 | 7 | ので、市からも協力い | 17 | そこには、産・官・学の知 | られてくると思っています | ビジョンづ | す | 地の進 | 13 | | 果 | T | 0 | 25 | |
| 3 | す | か | 最 | 13 | ŧ, | n | | 思 | 2 | するか、すなわ | t | いま | | ŧ, | 13 | 中 | が | |
| Э | 0 | • | 後 | ŧ | 協 | 15 | 官 | -) | う | か | むべき道を | 話 | | 現 | る | で | あ | |
| 2 | | ひ | 12 | す | カい | te | | T | < | • | き | L | | n | ح | 3 | n | |
| は | | | 樾 | 0 | 13 | ŋ | 学 | 12 | ŋ | す | 道 | 合 | | T | i | 2 | ŧ | |
| 無 | | Ξ | 維 | | た | ŧ | Ó | ŧ | が | な | \$ | b | | ŧ | 2 | 7 | L | |
| 限 | | 2 | ち | | だ | せ | 知 | す | 求 | b | `` | n | | T | t: | n | t- | |
| 6 | 願いします。 | とことず | 、最後に繊維をど | | ただき | なりません | 恵 | o | くりが求め | 5 | 11 | し合われた | | 具体的な成果も現れてきてい | 輸出が増えているといった、 | 0 | よ | |

| 経済の中で圧倒的 | 織物をはじめと | なので、市民のみんなから繊オリのような商業にないまい | いのわけですし、決してひま | あらゆる産業の先陣をきって | そういう意味では、繊維は | ました。 | 手を考えなさい」といってい | したかをよく勉強して、次の | 時、繊維の経営者がどう対応 | 験しなければならない。その | 動車・弱電すべての産業が体 | は、時間的ずれはあっても自 | ままで経験してきた浮き沈み | の話なんですが、「繊維がい | 稲田 ある都市銀行のトップ | 付けなければならない。 |
|--------------------|------------------|----------------------------|---------------|---------------|--------------|-------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|-------------|
| 経済の中で圧倒的な地位を占める「単一 | 物をはじめとする繊維工業が、市の | | うございました。 | 今日は、たいへんあり | す。 | ら努力いただきたいと思 | 発展されるよう、みなさ | 基幹産業ですので、ます | 司会 市としても、だい | と願っています。 | ひまわりの色であってほ | る場所で大輪の花を咲か | たとえていえば、常に陽 | 佐藤 明日の栃尾産地を | す。 | 維を見直してほしいと思 |

ら努力いただきたいと思いま発展されるよう、みなさんか と願っています。ひまわりの色であってほしいる場所で大輪の花を咲かせる、 うございました。 司会 たとえて 佐 維を見直してほしいと思 薕 市としても、だいじな 明日の栃尾 えば、 へんありがと 常に陽の当 いま



栃 尾

中

学校

Ø

創

設

四百十三校の一つとして誕生しま学校はこの年の五年二十日、県内制の新学制の施行により、栃尾中昭和二十二年、六・三・三・四 た

ったのはこの年の十一月でした。忠男先生が兼任し、全職員がそろ代校長は、栃尾高等女学校の富沢業が開始されるというもので、初差が開始されるというもので、初話局)の一部を借りて、しかも町 から編入の三年生が十五名、 校東側校舎 創立当 開校時の生徒は、 時の校舎は、 (現NTT栃尾電報電 が十五名、二年 旧 「栃尾小学

創立10周年記念行事の

の引っ越し 建築の 年 つち音が 木の は三十一年十月でした。 香も新 響い も新しい校舎へいたのが昭和三 ア、提如行列

五 星みずかうの光にて 後峰越えて渡る鳥 希望かがやく 我が力思え我が友 大いなる 鳥はむのれの力なり 築け我が友 胸保く 杨尾中学校十八校长 Ð. 文化の錦うろわしく 明声添うる 筬の音 山はととざす 河虎 さえ 私の影識る 月の徒 が茉の国の花紅葉 越えて渡る鳥 我が力

確のゆく手(筋にめ我が友 手をとり) もと清き刈谷田のむる淵の深ければ とす 姿かな となっかしき なにさわぐ仇波 大どかに 譲り合い こなから真隆鏡 朝夕にと 汉选 占めて伸び 吹山 3 う教会 Ł 31 30 25 24 45 36 33 32 22 年 62 60 56 54 52 47 42 41 34 32 24 23 年 スポー 特筆される活動実績 県教委指定「理科教育」研究発表会創立一〇周年記念式典挙行生徒会「栃の芽会」発足PTA発足 各種行事 ル三位 県中学庭球大会女子三位 県中 ル三位 県中学校野球大会二位県下中学校バレーボー 県教委指定「教育評価」研究発表山形県白鷹町中学校と交歓会開始調理室、被服室しゅん工 県中学相撲大会優勝 県中学校陸上大会女子20 県中学校陸上大会女子80 県下中学校バ 県下 創立四〇周年記念式典挙行 県中研指定「特別活動」研究発表会 举行 創立三〇周年・武道館新築記念式典 県教委指定「道徳教育」研究発表会県教委指定「学習指導」研究発表会 創立二〇周年記念式典挙行 総合技術室完成 ル三位 -中学校バ ツ活動(県大会以上の主な入賞) 内 学校陸上大会女子 内 と教育活動 スケ L ボ .7 トボー 80 ル大会優勝 ル大会優勝 研究発表会 -ル大会優 よう 0 kí 容 치 11 1

り、栃中創立一〇周年の記念すべ相まって体育館建設着工の年であ昭和三十二年は、新校舎完成と き年 となりました。 日から五日 体育祭・ 女子コ 間、 記念式 =

典・文化祭・ に繰り 「灯行列と多彩なイベントが学区」「隊・仮装行列・たいまつ行列・ +· 広げられたのです。

ます。

O

教育環境整備は完了したとい昭和三十六年を軸として、栃

六年を軸として、

栃中 ż

中心校としての栃中

グラウンドと体育館の完成

な仕事が、広大なグラウンド整地校舎完工と同時に手がけた大き した。

を新たな出発とし、日々の教育実に立って、「栃中教育」は、こここれまで培われてきた基礎の上

市の予算に加えて、学区民や職員、 い思い出となっています。 下に誇るマンモス体育館で、国・ 下に誇るマンモス体育館で、県 の汗と涙の労力奉仕も、忘れがた り組んだ、当時の先生や生徒たち たが、 が、完成の三十五年まで、夏休三十三年に自衛隊の協力もあっ

した。

生徒 0 奉仕 活動による浄財でで

毎年大きな盛り上がり をみせる体育祭



武 道館 Ø 新 設

ければなりません。あがったことも付け加えておかな

武道館の設置により、上がりをみせたのです。 挙行され、記念事業は一段と盛りり待望の武道館が完成しました。 の教育の場にせよ」の伝統が再確動の場所が拡充整備され、それぞ 認されたのです。 市当局ならびに関係者の尽力によ年にあたり、記念事業に合わせて、 昭和五十二年は創立三〇年の クラブ活

に整えられたのです。 存在するにふさわしい条件がここ

県下に栃中の名を広める活躍へと 得た魚のごとくさらに活発化し、柔道部・剣道部の活動は、水を

な前進が続けられることとなりまポーツ・文化活動にも力強く着実工A活動、そして生徒の学習・ス践、各種研究会の開催、活発なP





| 62 | 2 | 60 \ | | 61 | 57 | | | 54 | | 53 | | 49 | | 47 | | 44 | | | 28 ۱ | 年 | | | 62 | | 61 | 60 | 58 | | 57 | | 52 | | 51 | 47 | |
|----|---|--------------------|-------------|---------------|----------------|-------|------------------|-----|------------|------------------|---------|------------------|-------|------------------|------------|------------------|------------|------------------|---------|----|------|-----------|------|------|-----|--------|-----|----|------------------|-------|------------------|-----------------|-----------|----|--|
| 秀賞 | | - 62 県下中学校吹奏学コンクール | 県書道教育研究会優秀賞 | 「少年の主張」県大会優秀賞 | 全国手紙作文コンクール準特選 | 長官賞一名 | 賞二名、郵政大臣賞一名、科学技術 | で農林 | A」として表彰される | 県PTA連絡協議会より「優良PT | 特別表彰される | 秋葉公園全校清掃奉仕作業で市より | 表参加する | 天皇陛下御臨席の黒川村植樹祭に代 | 化」で特選に選ばれる | 県国土緑化推進委員会より「優良緑 | ・団体賞多数獲得する | 大会、北信越学徒書道大会で個人賞 | | | 文化活動 | 二位、砲丸投げ優勝 | 子校総合 | 中学校剣 | 剣道大 | 中学校剣道大 | 柔道大 | 新) | 県中学校陸上大会三種A優勝(大会 | 00に一位 | 関東甲信越中学校陸上大会男子30 | に優勝、女子80にハードル優勝 | 中学校陸上大会男子 | | |
| | | | | | | | 2 | 欠回 | ככ | 7 F | 31 | 0E |]된 | まは | | ጉ | 塩 | 谷 | ф | 学校 | 交の | 予 | 定 | r7 | す。 | | | | | | | | | | |

閉校そして新しい歴史に向けて ① 42年の伝統は永遠に 栃尾中学校



栃尾中学校々章

| | うっそうたる射木也皆こ、交合 | こみたいと思います。 |
|------------|-------------------------|-------------------------|
| 共に常ゆくな | 建設されたことです。 | に長く残るものをいくつか紹介し |
| ともべきぬ よ | は、独立校舎が現在地の上の原に | い出は遠くになるが、「栃中校史」 |
| 三枝葉豆いに該 | 栃中の歴史の中で特筆されるの | たからです。閉校を前にして、思 |
| 真理の由 | 多工村管学反と一〇眉午言だ | 生・在校生のたゆまぬ努力があっ |
| 進め我に | 虫 広 交 雪 完 伐 に つ 周 耳 己 念 | 子校関係者、学区民の協力、卒業 |
| 水はさな | 名(七学級)のスタートであった。 | れを乗り越えてきたのは、多くの |
| みなもと | して二百四十二名、計三百三十九 | 多の試練や苦難がありました。そ |
| 静むる四 | 生八十二名、新制中学校一年生と | 栃中四十二年の道のりには、幾 |
| 「浅瀬に | | な見る見してした |
| この山仰ぐ朝 | | を見る思いでした。 |
| みがけ我か友 | に、「栃中教育の真髄」 | 飾ろうとする関係者の努力に、「栃中教育の真髄」 |
| 御ぐにいとどなつ | んじ、校史に有終の美を | 校が多かった中、伝統を重んじ、校史に有終の美を |
| 物は言われど守 | て、式典を見合わせる学 | られたが、閉校を目前にして、式典を見合わせる学 |
| 積みなすたの高 | として祝いたい」と述べ | 中の長い歴史の一つの節目として祝いたい」と述べ |
| 「 ジタミナく 大と | のみなさんとともに、栃 | 年を、在校生・学区関係者のみなさんとともに、栃 |
| 下的 | 大橋一郎実行委員長は、式辞の中で「この四〇周 | 大橋一郎実行委員長は、 |
| 松歌 | | 式典が挙行されました。 |
| | 昨年の五月十六日、栃尾中学校創立四〇周年記念 | 昨年の五月十六日、栃尾 |

このページの執筆・編集は、栃尾中学校にお願いしました。

済的に困難なときに、

知事に

には、





年金を

「申請

事に至らずに済んでいます。発見し消火に努めた結果、大っていますが、いずれも早く っていますが、いずれも早く火災四件、林野火災二件となまでの火災発生件数は、建物なお、今年一月から五月末 だきたいと思います。い無火災地区をつくっ 家族の安全を守るため、す 無火災地区をつくっていた 指定地区 分団・部・班 新栄町・栄町 第1分团第1部 第2分团第6部 下塩・人面・文納 第3分团第6部 大野原・沖布・天平 第4分团第1部 第5分团第2部1班 第6分团第1部2班 第7分団第2部2班 森上・半藏金 第8分团第3部 た件数は、一割にも満たない 夜間・休日に出動を要請され スが出ない」「ガス器具の調 表のとおりです。 緊急車が出動した件数は、下 状況です。 ためではないかと思われます。から」などと、遠慮しているこれは、みなさんが「夜だ ためではないかと思われから」などと、遠慮して から」などと、 ます このうちみなさんから デ (4)ガス水道課へ通報する。あります) (3)換気扇や電灯のスイッチに (2)戸や窓を開けて、 番号も忘れずに。すと、②住所、氏名、 閉める。 あり 爆発の点火源になる危険が イッチやモーターが、ガスは絶対に触らない。(電気ス 3° 通報は、①ガス漏れのよう 換気をす

電話

玉

民

年

金

か

の防火意識の徹底を呼びかけなさんの尊い財産を守るため

市消防団では、

毎年防火推

めて健康的な市民生活のため備することが、精神衛生を含

ーも兼務されています) (布施さんは県河川モニタ

しょう。 「河川への不法投棄」「河

やめま

緊急車で駆けつけ、 か所を調べ、

応急処置を行

(1)ガス栓とメー

9

コックを

から通報があると、

処置 がただちに い

とおりです。 ていただきたいことは、 とき、みなさんにすぐに、

次の

みなさんにすぐにや

と気づい

った

ガス水道課では、

で

美しい自然環境を維持し整場は悪臭さえ漂うほどです。

小出敏雄さん

(泉

きれ

いな川をとり

、戻す

ため

通報先

(52) 5 8

2

6

す

もに指導、

監視を行って

43

ŧ

ごみの

るとと

を指定しました。期間は一年今年度は、下表の十五地区

今年度は、 います

7



河川の浄化はいっこうに進みの不法投棄があとを絶たず、しかし、一部の心ない市民 の願いではないでしょうか。 料水、工 ません。特に渇水期となる夏 キャッチフレーズとするこの「水と緑と織物のまち」を は、 栃尾市において、川がきれ 汚すことと同じとい ます まるいは発電用水と人間 水、 わたって深い関係をもって この母なる河 わたしたちの生活自体を 工業用水、か たちの生活は、 Л か を汚すこと 、お、古、 えます。 んがい 23 63 用

坊げています。 市は、河川の浄化を 、河川す。 のかたがたに 底を図るため 7 河川監視員制 の不法投棄と 11 いの でしょうか います 那須清与さん 小森策太さん 多田貞策さん は」「わた 「少しくら 監視員を (仲 表 町 () (表 町 町)



不法投棄の状況を見るの河川監視員

| 慮なく更朝・休日で、 をとっています。 をとっています。 が(前えて、二」、 | ガスとま | 子全 |
|---|---|---------------------------------|
| 5 くでつ。十 、 8 だあいも四ガ 2 さったし時ス 6 いてら、間事 | ガスのトラブ 夜でも休日 | |
| 。も 、 ガ 体 故 遠 深 ス 制 な | 62年ガス事故等出! | 助件数 |
| してください。 で、すぐ☎22 などと自分だけで などと自分だけで ののます。明日 | ガス漏れ ガスが出ない等 プロパン改造・器具調整 器具の不調・点火しない | 81 50 49 33 |
| 。 2 判緒「が違 6 断とたるっ | ボックス調整・入れ替え ガス警報器取り付け 火 災 その他 | 3 3 2 3 1 4 1 2 4 1 |
| にしよい危て 電なうた性ス | 合 計 | 303 |



--- 広報とちお おしらせ版 63.6.10 ----(4)

| 家 | Ø : | 食. | 卓 | | ン | ク | | ル | |
|-------------------------|---------------|-----------------------|---------------------------|------|------------------------------|--------------|----------------------------|-------------------------|---------------------------|
| ▼栃尾保健所に用意の応募用 応募先と方法 | ▼県内在住の個人、またはグ | 応募資格 部(勤労者の一日分の献立) | ③集団給食クローバー献立の②高齢者のための献立の部 | 食は弁当 | 一日分(朝、昼、夕、間食) ①我が家の一日献立の部 | 応募の内容 | 県民の健康づくり運動に利用す。優秀な献立については、 | 「お家の献立」を募集し、「民の皆様から『健康づ | バー運動」の一環として、広県では、「健康新潟クロー |

| 名 | 期間・時間帯 |)れて | はこ | 技能 | 発セ | る施 | 雇 | |
|------------|------------|------|------------|------|-----|------|------|------|
| ミング | 15日~18日(昼) | いろ | ち満 | 講習 | ンタ | 設で | 用促 | 賠許 |
| Ŀ | 15日~18日(夜) | る人 | ん習る | 習会を | Ĺ | あ | 進事 | 무비지 |
| イス盤 備講習 | 24日~26日(昼) | の技能習 | 現在は離 | 開催 | では、 | る「新潟 | 事業団の | 業 |
| | 18日~19日(昼) | 得 | 在転 | ŧŧ | 左 | 技 | 運 | - 12 |
| 務塗装 備講習 | 18日~19日(登) | 一と向 | 職 職 さ 者 | | 表の | 能開 | 営す | 能 |
| | 18日~25日(昼) | 0 | き 七 | | ŧ | 100 | ţ. | |
| | 25日~26日(昼) | ある | れ月ま以 | 12 | o, | 講座 | 上を月 | ĨĬ. |
| | 18日~19日(昼) | 人は | す降 | : 4 | 夜の | は、 | 的に | राश |
| | 14日~29日(夜) | 参加 | 技術取 | 紹介 | 部など | 昼に開 | 開催さ | 習る |
| C中級 | 14日~29日(夜) | くだ | 得座 | た | があ | 催さ | n | 会 |
| 前9時7 | から午後4時まで | さ | 関開 | 外 | 5) | られる | ます。 | |
| 後6時7 | から午後9時まで | 5 | 心催 | L IZ | 10 | る | 0 | 開新 |
| | | | | | | | | |

| れます。 の 御通信教育講座」が開催さ 一 勝備について学習する 「労 一 一 一 時 備 本 ど 労 働 通 信 教 育 講 座 」 が 開催 さ る 「 労 一 二 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 | 受講料 ▼千円から三千円(講座別) ▼詳しくは、新潟技能開発 ーーーー☎37局〇四五〇 番)に照会ください。 | · 発 センタ ー |
|--|--|--------------------|
|--|--|--------------------|

| 奨 | 厉 | b 3 | 金 | を | 支 | * | 合 | | | | | | | | | | | 1 |
|------------|--------|------------|------------|------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|------------|-----------|---------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|
| | ŧ | ł | | 児 | 3 | 1 | 木 | | 美 | ¥ | í | 制 | J | E | 芰 | | |) |
| ▼中小企業は、百万円 | 奨励金の金額 | ください。 | 児休業制度を採用して | 奨励金を利用して、育 | ぜひ、この育児休業 | 支給しています。 | て、育児休業奨励金を | 入をした事業主に対し | め、次のように制度導 | 度の普及促進を図るた | 労働省では、この制 | する制度です。 | 場に復帰できるように | 専念し、その後また職 | 間仕事を休んで育児に | 子労働者が、一定の期 | 乳児期の子供を持つ女 | 育児休業制度とは、 |
| ▼詳しくは、新潟婦人 | 問い合わせ | ください。 | 人少年室に申請して | 以後三か月以内に婦 | 三か月を経過した日 | 業を開始した日から | 統一年以上)が、休 | した女子労働者(勤 | 育児休業制度を利用 | ▼制度導入後、始めて | 受給の申請 | いないこと。 | より著しく限定して | 範囲を身分、職種に | できる女子労働者の | ▼育児休業制度を利用 | 業できるとするもの) | 達するまでの間、休 |



| 作講習会を開催します。 この認定証取得のための操 定証が必要です。 このフィルムを利用するに | 2とも可能です。 ことも可能です。 | ライブラリーから借りて来るでも、長岡地域の他の市町村尾市で持っていないフィルム | こ す 市 日 の ほ の 利 | の映画フィルムを多数用意し |
|--|--|---|--------------------------------------|---------------|
| 7月3日 | ▼六月十八日(出までに栃尾市 | 代四百円 | 会場♥市文化センター時間♥午前九時から午後五時期日♥七月三日佃 | につけていただくものです。 |
| 開催時間▶午前 ▶市文化センタ 日から23日まで ンター内呑52局 期日 6月27日(月) 7月4日(月) | 申し込み▶6月13 に市公民館(市文化セ 2020番)へ テーマ みんなともだち 乳幼児の心の 健康づくり | 人も多いと思われます。 子育てについての疑問を相談 | しかし、核家族化が進み、でも特に重要な時期です。乳幼児期は、子育てのなか | を開催します。 |
| 7月13日(休) 7月18日(月) 7月25日(月) 9月19日(月) 9月26日(月) 10月3日(月) 10月17日(月) 10月29日(上) | 幼児食のポイント みんなであそぼう しつけのポイント 絵本と幼児 幼児と生活環境 家庭における 親の役割り 質問に答えて 子育ての基本 | 定員▼二十 人 を加してください。 | た、教室開催中は、ます。 | お互いに話し合い、子育てに |
| ▼第三子山降一人につき月額二千五千円 | 支者当年十三払い | 児童手当を | んるし | 歳未満の児童を、二人以上 |
| 6月22日(秋) 午 6月23日(木) 午 6月23日(木) 午 | 対象 新栄町・栄町・山田 前 町・大野町・谷内・ 旭町・仲子町 東町・本町・金町・ 復町・参渕・栃倉・ 天下島・鴉ヶ島・水 前 入東谷地区・西谷地区 後 東谷地区・荷頃地区 | 滝の下町・ 小貫・土ケ 大倉・平・ 沢・岩野・ 辺 地区 地区 | 上の原町 谷・金沢 東が丘・ | 会 「行戶」」; |

--- 広報とちお おしらせ版 63.6.10 --- (2)

| の映画フィルムを多数用意し につけていただくものです。長岡地域視聴覚ライブラリー め、一定以上の操作技術を身 | 栃尾市立教育センターは、これは、フィルム保護のた | 1(『 眇画フィルム | くたさい | | | 手当てをしてくれたなら、け 開催日時・場所 | 合せた人が、敏速適切な応急 ぜひ、参加ください。 | までの間にその事故現場に居 急手当て講習会を開催します。 | 交通事故で、救急車が来る このような、緊急の際の応 | ません。いといわれています。 | 交通事故に出会うかもわかり たと思われる場合が少なくな | 私たちは、いつ、どこで、 が人の生命を救うことができ | | ろ近马古我急防罰至と | と見厚女女息去睛習会 | |
|--|--------------------------|---|--------------------|---------------|---------------|-----------------------|--------------------------|-------------------------------|---------------------------|----------------|-----------------------------|----------------------------|---------------|-------------|------------|---------------|
| を開催します。 | 市公民館は、乳幼児がいる | | 子育て教 | | | 受講証明を発行します。 | ▼受講者には、当日の医師の | 受講証明 | る応急手当ての方法を指導 | 止血法など初心者でもでき | 人口呼吸や心臓マッサージ、 | ▼日本救急医学会の専門医が | 講習内容 | ▼長岡市 長岡市立劇場 | 五時まで | ▼七月十三日は午後一時から |
| お互いに話し合い、子育てにさんが集まり、講師を交えて | そこで、乳幼児を持つお母 | | く教室 | | | らにどうぞ。 | 合わせもこち | ださい。問い | に申し込みく | 五五一一番) | 五一二五八一 | 策課(20二 | ▼新潟県庁企画調整部交通対 | 参加申込先 | ▼三千円(教材費等) | 参加費 |
| 歳未満の児童を、二人以上に生まれた児童を含む十八 | ▼昭和五十七年四月二日以降 | また うちょう かいしょう いちょう ひょう ひょう うちょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひ | ての友洽が亭上されます。 | ださい。なお、この届け出が | する人は必ず届け出をしてく | 大切な届け出ですので、該当 | して、支給の可否を決定する | 状況や児童の養育状況を確認 | この届けは、受給者の所得 | 受け付けします。 | の現況届けを、下表の日程で | 児童手当を受給している人 | | 児童手业 | 抜出してく かさし | |
| 会 市役所市民ホール (一階) | 係(452-五八三五番)へ | ▼詳しくは、市民課国民年金 | 問い合わせの必ず書類を持参願います。 | 変更ない時でも、確認のた | ▼年金や預金口座が、昨年と | お願い | 確認できる書類 | のあった人は、その金額を | ▼昭和六十二年中に譲渡所得 | 通帳 | る書類、保護者名義の預金 | 年金の記号番号を確認でき | 1 | 現況 | | |



| レントゲ | ン撮影と基本 | 健康診查日程表 | しろす 該ての。市 |
|-------------|--|--|--|
| 月日 | 会場 | 時間 | 当健食病は、者診生気、 |
| 7月13日 | 市民会館 | 9:30~11:30 | はに活の次 |
| (水) | псяя | 13:30~15:30 | 、よや予の 必る体防健 ず早力は診 |
| 7月14日 | 市民会館 | 9:30~11:30 | す早力は診 |
| (木) | | 13:30~15:30 | 診発くま実 |
| 7月15日 | 市民会館 | 9:30~11:30 | てで、日し |
| (金) | | 13:30~15:30 | くすそごまえ |
| 7月18日 | 市民会館 | 9:30~11:30 | * |
| (月) | | 13:30~15:30 | |
| 7月19日 | 市民会館 | 9:30~11:30 | 歳 日 |
| (%) | | 13:30~15:30 | 上山レ |
| 7月20日 | 市民会館 | 9:30~11:30 | 上の市 接ン 代 |
| (水) | | 13:30~15:30 | 民 提 🖌 🖌 🖌 |
| 7月21日 | 皆楽荘 | 9:30~11:30 | *、 ケ |
| (木) | a de la companya de la compa | 13:30~15:30 | |
| 8月1日 (月) | 東谷小学校 | 9:30~11:30 | |
| 8月2日 | | 9:30~11:30 | 診布経二二 |
| 00 | 中野俣小学校 | | 栗し由受回 |
| 8月3日 | 半 蔵 金 防雷センター | The second s | 6 す 通該上 ■ 質 。知 当 必 |
| (水) | 西谷小学校 | 13:30~15:30 | 問受書者ず欄診へに受 |
| 8月4日 | | 9:30~11:30 | にの問はける |
| (木) | 上塩小学校 | 13:30~15:30 | にの間はけ 回際診、て 答に票区く |
| 8月5日 | *** | 9:30~11:30 | をは [、] 長だ 記、をささ |
| (金) | 東谷中学校 | 13:30~15:30 | 記、をささ入間配んい。 |
| 8月8日 | 荷頃小学校 | 9:30~11:30 | 7 4 11 7 14 |
| (月) | 10 94 7 7 7 12 | 13:30~15:30 | こ会が ては、とに、ま受、 |
| 8月9日 (火) | 入東小学校 | 9:30~11:30 | こ会が ては、 とに入たてまけ ないたで ない を で は、 た て は 、 ま け し よ の で 、 ま の 、 た 、 た の 、 た の 、 た の 、 た の 、 た の 、 た の 、 の た の の の の |
| を対象に、成人病 | 建東今 | 直接会場に持参し 市保健衛生課か、 ける必要がありま | たゲ就知だ寄 |
| | 番)におたずねください。 | ▼詳しくは、市保健衛生課予問い合わせ 持参してください。 | ★診内容 実施します。 実施します。 |
| 9 | 年に | は、津 | 請掃都 ┍ |

お互いにマナーを守って 環境美化につとめましょう

7月に20周年記念大会を開催予定

--- 広報とちお おしらせ版 63.6.25 ----(6)

| 結核予防接到 | 種と | 集合時間 ▼市総合体育館 | 環境衛生改善資金は | 資金は |
|------------------|----------------|---------------|----------------|----------------------------|
| | | ▼午後一時三十分までに集合 | かんえ | かんえい公庫で |
| | リルオミ | ▼七月二十九日には、配布し | 環境衛生金融公庫では、設 | また、振興事業に関係する |
| 次の乳児を対象に、結核の ③生 | ③生後四十八か月未満の人で、 | てある「乳幼児健康診査・ | 備資金を長期、低利で融資し | 運転資金も融資しています。 |
| 予防接種を行います。 ま | まだ結核の予防接種を受け | 予防接種のしおり」の中の、 | ています。 | 融資条件など詳しくは、現 |
| 対象者で | ていない人 | 問診票に必要事項を記入し | 融資対象は、飲食・理容・ | 衛公庫業務部(ロ〇三一五八 |
| ①昭和六十二年七月一日から 期日 | H | て持参してください。 | 美容・旅館・クリーニング等 | 二一五四一六番)または各県 |
| 十二月三十一日までに生ま ▼ツ | ▼ツベルクリン注射 | ※母子手帳、印かんを持参 | の環境衛生関係業種を営む個 | の環境衛生同業組合、環境衛 |
| れた人 | 七月二十七日(水) | 問い合わせ | 人または会社が、衛生面の向 | 生営業指導センター、ならび |
| ②前回疑陽性の人と、陰性で ▼反 | 反応検査とBCG接種 | ▼詳しくは、市保健衛生課予 | 上を図るため、店舗の新、増、 | に代理店(国民金融公庫、商 |
| BCG接種を受けなかった ナ | 七月二十九日金 | 防衛生係(☎52局五八三六 | 改築や器具、備品の購入など | 工中金、銀行、相互銀行、信 |
| 人会场 | | 番)におたずねください。 | に必要とする資金です。 | 用金庫、信用組合)へ。 |
| レントゲン 撮 | ン撮影と | ٤ | | 断を行います。会場は、レン予防のための基本的な健康診 |
| Ę | Ē | | 2.52 | トゲン撮影会場と同じです。 |
| | 木 日 見 ま い | | い場合カまります そのとき | 併せて 受診してくたさい |

市宜言20周年です

| しての使用など、広く使用さ しての使用など、広く使用さ している、現代社会に欠かせ 会計事務処理やワープロと 会計事務処理やワープロと しました。現代社会に欠かせ ないコンピューターをこの機市民にも すっ。 会計事務処理やワープロと 会計事務処理やワープロと しました。現代社会に欠かせ しました。現代社会に欠かせ しました。現代社会に欠かせ たかせ たてす。 会計事務処理やワープロと した。 会計事務処理やワープロと した。 の使用など、広く使用さ | 手かがり すなり数室 「たまり数室 「なまり数室 「なまり数室 「「本り」の前尾に伝わる「手か 「てまり」の制作社会国るたまり」の制作社会国るため。 「てまり教室」を開 「てまり」の制作技術伝承と 参加ください。 「日七日から八月十 |
|--|---|
| 九中西山市市五古市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市 | について 学ぶ について 学ぶ について な な な か に し込み の な し な の な し な の の の つ の の の の の の の の の の の の の |
| タ指るとした。 すい。 をしい。 をしい。 をしい。 をしい。 をしい。 をしい。 をしい。 についた のでくした でのたいます。 についた でのたいまでで、 についた ので、 したののたい ので、 でのたい ので、 でのたい でので、 たい。 ので、 にのたい ので、 でのたい ので、 たい。 にのので、 たい。 にのので、 たい。 にのので、 たい。 にのので、 たい。 にのので、 にののので、 にのので、 にのので、 にのので、 にのので、 にののので、 にのので、 にののので、 にのので、 にののので、 にののので、 にののので、 にのので、 にのので、 にのののので、 にののので、 にののので、 にののので、 にののので、 にののので、 にののので、 にののので、 にののので、 にののので、 にののので、 にののので、 にののので、 にののので、 にののので、 にのので、 にのので、 にののので、 にののので、 にののので、 にののので、 にののでで、 にのので、 にのので、 にのので、 にのので、 にののでので にのので | 子どもに注意 水難事故防止 ただに、での、が本づ ですがこ始格」学校 ただに、死子すがこち的格」で ただに、死子すがこちの ただに、死子すがこちの ですが、またでりなたりの たたけ件に、どの またで、 ない、 たたで、 ない、 なたで、 ない、 本 たたい、 での、 が本 での、 たたい での、 なた たたい、 での、 なた たたい、 での、 なた たたい、 での、 たたい、 での、 たたい、 での、 たたい、 での、 たたい、 での、 たたい、 での、 たたい、 たたい、 での、 たたい、 たたい、 なたい、 なたい、 なたい、 なたい、 なたいの たたい、 なたい、 なたい、 なたい、 なたい、 なたい、 なたい、 なたい、 なたい、 なたい、 なたい、 なたい、 なたい、 なたい、 なたい、 なたい、 なたい、 なたい、 なたい、 ない、 なたい、 ない、 ない、 での、 ない、 ない、 ない、 ない、 ない、 での、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 ない、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 |
| | ▼七十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二 |
| コン(販売 学理、財 コン(販売 管理、財 コン(販売 管理、財 コン(販売 管理、財 コン(販売 管理、財 コン(販売 管理、財 コン(販売 管理、財 コン(販売 管理、財 コン(販売 管理、財 」))) (販売 管理、財 」)) (販売 管理、財 」)) (販売 管理、財 」)) (販売 管理、財 」)) (販売 管理、財 」)) (販売 管理、財 」)) (販売 管理、財 」)) (販売 管理、財 」)) (販売 管理、財 」)) (販売 管理、財 」)) (販売 管理、財 」)) (販売 管理、財 」)) ()) ()) ()) ()) ()) ()) ()) | たまれ、ファッションショー ない 89を開催します。 のファッションショー なくだきる人を募集し ッションは、作る人だ の鋭い感性で磨きあげ。 で、トチオファッショ みてください。 |



日印まで

精神衛生相談 期日 7月1日(金) 午後2:00~3:00

(3) --- 広報とちお おしらせ版 63.6.25 ---

| | ト)は、各種別ごとに一人 | ▼詩、随筆、掌編小説(コン | 別ごとに一人五点以内 | ▼俳句、川柳、短歌は、各種 | 応募点数 | 品としてふさわしいもの | ▼自由、ただし、夏季文芸作 | 題材 | 筆、掌編小説(コント) | ▼俳句、川柳、短歌、詩、随 | 種別 | ください。 | まれたあなたの作品をお寄せ | 自然や、暮らしの中から生 | 品を募集します。 | 市公民館では、夏季文芸作 | 夏季文芸 |
|---|-----------------|---------------|----------------|----------------|---------------|--------------|---------------|---------------|------------------------|---------------|---------------|--------------|---------------|--------------|---------------|---------------|-----------------------|
| | 応募と問い合わせ先 | ださい。 | 自宅電話番号を記入してく | ※応募用紙には、住所、氏名、 | 選作品集を作成します。 | おに掲載します。また、入 | す。入選者名は、広報とち | ▼入選者には、賞品を贈りま | その他 | ▼七月二十八日休必着 | 締め切り | とする。 | 紙で、一編につき四枚以内 | ト)は、四百字詰め原稿用 | ▼詩、随筆、掌編小説(コン | 一葉とする。 | 作品募集 |
| | 出品先 | ▼十月八日(1) | 締め切り | 除きます) | ▼県内在住者(高校生以下を | 出品資格 | ▼川柳…五句を一編とし審査 | ▼俳句…五句を一編とし審査 | ▼短歌…五首を一編とし審査 | 枚以内 | ▼詩…四百字詰め原稿用紙四 | 五十枚以内 | ▼小説…四百字詰め原稿用紙 | 種目 | の作品を募集します。 | 県は、県民芸術祭文芸部門 | 県民文芸 |
| | 問い合わせ | 二十二日火 | 試験日▼十一月二十一日川と | 認定試験を実施します。 | 文部省では、学芸員の資格 | | 学芸員試験 | | | ○番)におたずねください。 | 尾市公民館(☎52局二〇二 | ては、県文化行政課か、栃 | ▼出品方法の詳しい点につい | 問い合わせ | と朱記してください。 | 民芸術祭文芸作品応募原稿」 | 4作品募集 |
|) | ▼八月二十七日(1)から二十八 | 会期 | んの出品をお待ちしています。 | 区展を開催します。働く皆さ | 新潟県勤労者美術展中越地 | | 勤労者美術 | | A PARTY AND A PARTY OF | ٤ | * | | | | | | |
| | の作品の制作および教える | る人で、応募部門について | 庁、学校を含む)に勤務す | ▼中越地区の事業所等(官公 | 出品資格 | | 田作品募集 | | | | かん | 1 | 0 | :0 :3 | 0 | ~ | 12:3(15:3(会 館 |

会場栃尾保健所

--- 広報とちお おしらせ版 63.6.25 ---- (2)

•



来春の開校が待たれる刈谷田中学校 中央公園も簡保。年金資金で整備されました は、簡保・ 簡保・ 郵便局の簡易保険・郵便年金の積立金 年金資金として、

役立って

います

年金資金

について、免税申請の受け付秋の収穫用に使用する軽油

収穫用軽油の

税金免除申請

全国の市町

1

明るく豊かなまちづくりに役立てられさんが払い込まれた保険料や掛け金が 設資金として融資されています。村の学校・道路・公園など公共施設の建 簡易保険・郵便年金に加入されるみな

申請に必要なもの
▼市内農機具販売店等 受付期間 場合…購入機械の販売証明 ②機械(機種)を買い替えた ①継続申請の場合…免税軽油 け ▼七月十一日间から三十日仕 まで を行 使用者証、印かん **書(機種名、** います 形式、 (二階) 馬力)、

> は、市税務課で登録の手続い農作業用車をお持ちの人物です。まだ登録していな特殊自動車として登録が必ち、トラクター、トレーラン、トラクター、トレーラ -その他 ③新規に申請する場合…機種 農作業用車(乗用コンバイ 耕作面積証明書、 の登録証または販売証明書 印かん

きをしてください

▼詳しくは、 (☎52局五八三七番) 五八三七番)にお、市税務課管理係



票の発行業務などを、コンピこれまでに税金計算や住民 て活用しています。 1 ターで処理しています。 ンピューターを導入し、行政事務の改善のた

ーターに入力しました。 実施し、その内容をコンピュ 世帯を対象に受診希望調査を

二週間ほど前にコンピュータそして、各健診の通知書を しています。 で発行し、個人あてに送付

して案内状を発送するなど、者をコンピューターで拾い出

健康指導に活用

今年からは住民健

て、コンピューターに記録しいては、各人の健康記録とし健康診断を受けた結果につ 知も、このコンピュータます。受診した人への結 発行します。 結果通 9 で

、蓄積されていきますので、さらに、毎回の健診の結果

が、

これを今年から、三月に全っていました。

内には、 厳重に保護します ができます このようにコンピュー ろいろな面で活用すること 個人のデ

他に漏れることが絶対にたその方法として、データうぶん配慮しています。 プライバシーの保護に記録)が蓄積されてい の保護にはじゅ いるため、 なタいが

いて関心をもつ人が増えてき入をきっかけとして健康につこれは、受診調査票への記 者については、従来に比べて たものと考えられます。 大幅に増えています。 たことなどから、受診申込各家庭に受診調査票を配布

(⇔52局五八三六番)へ◆健診についての問い合わせ 問い合わせ まず健康診断から

つは

長生きの秘け

91

"はつらつ栃尾ヤング村"では

ヤング村は昨年独立したばかりのホッ カホカの若者の「村」…、まだヨチヨチ歩

きだけれどヤル気満々の村人たち、あな

たが主役の楽しく明るい「村」それがヤン

村民になりたい人は、市公民館(市文

化センター内1階☎52局2020番) か勤労

青少年ホーム (滝の下町☎52局4432番)

に税金(通信費など) 500円を添えて申

グ村なのです。

し込みください。

★村民証を交付します。

ーは

はつらつ栃尾ヤング村

44

7月2日(土)はキャ

村民大募 集

6

プ実施

9

が ド

ます。しかし、テリーンとしてしまえ は禁物です。とくに夏の間はます。しかし、冷蔵庫の過信 冷蔵あるいは冷凍してしまえまた、食品を一〇度以下に 冷蔵庫の過信 温度が下

調理後はなるべく早く食べ

ことが肝心です 加

る

熱と 冷 却

いのものまモモいのものまモモ いのものは死滅します。 以上で加熱されると、たいて 細菌は、熱に弱く六十五度

かっていません。♪アの開閉が多く、

(5) ==== 広報とちお おしらせ版 63.6.25 ==== し、受診希望者から直接保健ごとに広報おしらせ版で案内これまでの方法は、各健診 ーで処理しています。 康診断の事務もコンピュー

コンピュー し

タ

で発行

--- 広報とちお おしらせ版 63.6.25 --- (4)

| 第20回簡易保険・郵便年金資金 | ・郵便年金資金 |
|--------------------|--------------------|
| 写真コンクー | ル作品募集中 |
| 郵政省では、簡易保険・郵便年金資金 | ①一般の部 |
| の融資でつくられた施設、及び簡易保険 | 四ツ切判 (カラー・臼黒)、またはカ |
| ・郵便年金加入者福祉施設を題材とする | ラースライド (三五ミリ以上) |
| 写真コンクールを実施します。 | ②小学生の部・中学生の部 |
| 募集期限 | キャビネ判以下サービス判まで(カ |
| 昭和六十三年七月三十一日 | ラー・白黒) |
| テーマ | 応募点数 |
| 簡易保険・郵便年金資金の融資でつく | ①一般の部 |
| られた施設及び簡易保険・郵便年金加 | 一人につき五点以内 |
| 入者福祉施設を題材とした作品 | ②小学生の部・中学生の部 |
| (題材となる施設例) | 一人につき三点以内 |
| 学校・公園・公営住宅・道路・橋、 | 問い合わせと作品の受け付け |
| 簡易保険保養センター | 栃尾郵便局保険カウンター(☎0220 |
| 作品の大きさ | 50)へどうぞ |
| | 「「ない」と、「「「「ない」」」 |



| みも受け付けします。 | 対象 |
|---------------|----------------|
| ください。電話での申し込 | 会場▼市役所別館 |
| 局五八三六番)に申し込み | 前十一時まで |
| 健衛生課予防衛生係(〒52 | ▼七月八日(金午前九時から午 |
| ▼六月三十日休までに、市保 | 期日 |
| 申し込み | 参加してください。 |
| してください。 | わりに不安のある人は、ぜひ |
| ※お子さんといっしょに参加 | の少ない人や、子どもとの関 |
| ▼保健婦、保母 | ふだん、子どもと遊ぶ時間 |
| 指導者 | 紹介教室を開催します。 |
| やおじいちゃんなど | るよう、具体的な親子遊びの |
| ▼子守り担当のおばあちゃん | 子どもと親がいきいき遊べ |
| までのお子さんがいる親 | て重要な要素です。 |
| ▼一歳六か月から三歳くらい | 遊びは、子供の発育にとっ |